

平成25年度「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」結果から見た本校の課題等

<p>教育方針 学校経営</p>	<p>本校の掲げる教育目標については、保護者については共感を得ているが(75%)生徒は昨年比-5%の36%と、生徒への周知が不十分で理解されているとはいえない。4月当初に生徒に示し、目標とする姿を追い求める姿勢について語ることが必要であると思われる。</p> <p>生徒は入学できて良かった。通学を楽しんでいる(保護者80%、生徒70%)と回答しており、学力だけでなく人間の育成をしようとしていることを評価されている(保護者昨年比+4%)。今後も文武両立のスローガンのもとでつけたい力を意識させていきたい。</p>
<p>家庭との 連携</p>	<p>学校からの文書が確実に家庭に届いているとはいいいがたい(保護者63%)。本年度より進路だよりをホームページに掲載している。このことに対しては、中学生とその保護者から「楽しみにしています」とのお声もいただき、今後は学年通信についても掲載を検討していきたい。</p> <p>保護者は悩みの対応については、昨年からの改善を感じておらず(51%昨年同比)、開かれているとは感じていない。</p> <p>一斉配信メールについては高い満足度をえているが(81%)、緊急時対応の連絡のためには加入100%を目指す必要がある。懇談時や進路説明会など保護者来校の時に広報に努めなければいけない。</p>
<p>教職員 学習指導</p>	<p>特に生徒評価の「本校は、通信やホームページ等を用いて、様々な情報を伝えている」という設問については昨年度比-14%であった。HPでは学校行事等について最新のデータをアップしていないことが多く反省点である。また「悩みや相談事に親切に対応してくれる先生が多い」という設問については昨年度比-8%で、教員の多忙化も一つの原因であると感じるが、SHRなどの身近な活動での指導、接触も少ないのかもしれない。9月よりSHRでの生徒との関わり方の見直しも始めている。保護者設問7については昨年度比-8%であるが方針・行事等変わっていない。より一層保護者と連絡をとり今後更なる広報活動が必要ということかもしれない。全体的に学校に対しての期待度が低くなりつつあることに危機感を感じる。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>生徒指導のアンケート項目全てで、肯定的な意見が3~8%昨年を下回ってしまった。モラルやマナー指導・みだしなみ指導・いじめへの対応では、4分の1の生徒が指導や対応が不十分であると答えている。その生徒は、もっとしっかりと指導・対応して欲しいと考えていると考えられる。全職員が、統一をした基準で指導に当たる必要がある。</p> <p>また、体罰の有無については、昨年よりは減っているが、まだ、13%が「体罰はない」に対して否定的な回答をしている。校外にも開示されるデータであり、回答について校内で十分な考察と対応の必要がある。質問の仕方を変えてみるなど、より正確な実態の掌握に努めたい。</p>
<p>進路指導</p>	<p>「開かれた進路指導」を目標に、卒業生の行事参加や校外のイベント参加などを行うと同時に、進路指導だより「さか草」のHP掲載など新しい試みも実施している。こうした取り組みが一定の評価を得ているものと判断し、内外の声に謙虚に耳を傾けつつ一層の充実を図りたい。</p> <p>一方、生徒からの評価に前年比マイナス項目が多かったことは、模試等の成績と併せて大いに反省しなければならない。分掌では以下のように分析している。①現行の指導体制が生徒に合わなくなってきた。生徒の中に課題・補習など「やらされている」感が強く主体的な取り組みになっていない。②教員の異動の影響で指導の継続性がうまく機能していない。若手教員の研修機会拡充も含めシステムとしての抜本的見直しを図りたい。</p>

健康管理 安全指導	<p>生徒、保護者とも安全や衛生面での安全指導については理解されているが、地震や台風などの災害に対する対応については、十分周知されていないようである。</p> <p>本年度については、大雨洪水警報発令により部活動中止、早下校の対応を経験したが、全員がそのまま帰宅したという状況でないことから、防災等の対応についての指導が徹底できていないと思われる。また校内での盗難がしばしば起こることから、安全管理・危機管理の意識をもたせる必要があると思われる。不審者への対応、女子生徒への痴漢防止など、生徒の安全や財産を守る意識の向上が課題と思われる。</p>
学校行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会や体験学習など、授業以外の学習機会の設定について、満足度が保護者で+3%上昇、生徒では-3%減少している。今年度は「Have a Dream for 100」Projectとして講演会を実施したが、一流の講師の講演を聴くことで、自分自身を見つめ直し将来への夢を持ち生き方を考える機会になればと考えている。今後も講演会を定期的の実施し、生徒のスキルアップの一助としたい。 ・学校行事の保護者アンケートについて、子どもの成長の糧となり得ているかの質問については、満足度は前年比±0%であるが、マイナス評価が3%増えている。学校行事についてホームページや生徒会新聞などを通じて活動の様子を家庭へ広く知らせることを考えて行く必要がある。 ・部活動が活発に行われているかについて、プラス評価が保護者で-6%、生徒にいたっては-15%と前年を大きく下回っている。生徒に満足感を持たせる指導と、保護者については各顧問で活動報告や試合結果を知らせるなど部活動に関心を持ってもらえるような取り組みが必要である。 ・ボランティア活動に関して、保護者・生徒ともにプラス評価はわずかに4割程度で前年比保護者+1%、生徒では-6%である。わからないという回答では保護者が前年比-6%と減っているが、依然3割にのぼる。また、生徒ではマイナス評価が-3%と減ったが、わからないとの回答が+9%と増えている。生徒指導部と連携しながらボランティアの呼びかけを行うなど、積極的な参加を促していきたい。
学校独自 項目	<p>自主性(生徒昨年比-13%、保護者昨年比-5%)、3年間を見通した進路指導(生徒昨年比-12%)と大きくプラス評価の減少が見られる。生徒自身が卒業後を意識した学校活動ができるように、キャリア教育の充実のための活動の充実を進めていく必要性を感じる。</p> <p>後期に計画される生徒向け講演会、保護者向け進路説明会などについては、要望を取り入れて講話内容を検討するなど、利用価値が高いと感じられるものにしていきたい。</p> <p>あいさつ活動については、前期生徒会が積極的に活動したこともあり生徒+7%、保護者+7%とどちらも評価があがっているので、今後も継続していきたい。</p>